

大蔵村「肘折希望（のぞみ）大橋」が完成

山形森林管理署 最上支署



開通した肘折希望大橋

温泉街から見た大橋



平成24年4月と5月の2回にわたり大規模な地すべりが発生したことに伴い通行止めとなっていた主要地方道戸沢大蔵線の「肘折希望（のぞみ）大橋」が完成し、平成25年11月30日開通しました。

この工事は山形県が発注したもので、崩落した箇所を避けて架設した国内最大級のループ型栈道橋は国道458号線と肘折温泉を結ぶルートとして、地元住民にとっては待ちに待った完成でした。通行止めの間、地域住民は狭い迂回路を運転し対応、当然温泉客も同様の対応となり観光客が大幅に減少してしまったため、地元住民の喜びも大きいものとなりました。当日は開通式を行い、吉村山形県知事も参加、平成24年は7回訪れるなど思いが強い箇所として「地域住民、関係者が助け合って完成した橋であり、肘折の人たちを考えると感無量。」と話されました。加藤大蔵村長

からも「この橋を核とした観光産業の発展を目指す。」とのあいさつがありました。

この橋は、①鋼製ラーメン栈道構造（メタルロード工法）の橋では国内最長の240m、②橋名版は屋外での設置・使用が世界で初めての有機EL照明（知事と地域の子供たちが書いた文字）、③高欄（欄干）は月山の登山道入口でもあるため朱色とし明るさを強調、3点の特徴を備えています。



吉村知事が書いた橋名版

人が住んでいる地域では日本一の豪雪地帯、開湯1200年の大蔵村肘折温泉に新たな名所ができましたので、皆さん是非足を運び温泉で体を癒やしてください。

を運び温泉で体を癒やしてください。



御神輿を先頭に通り初め